

「ザ・パークハウス 新浦安マリンヴィラ」にて 東京都環境局と小学生向け環境教育・防災教育のイベントを実施 ～省エネと太陽光発電で「エネルギー消費量半分のおうち」を体験！～

三菱地所レジデンス株式会社（以下、「三菱地所レジデンス」）は、東京都環境局と共同で、親子向けイベント『省エネ』と『太陽光発電』で『エネルギー消費量半分のおうち』を体験！』を 10 月 23 日（日）に実施いたしました。開催場所は、ZEH-M Ready 基準に適合している新築分譲マンション「ザ・パークハウス 新浦安マリンヴィラ」といたしました。三菱地所レジデンスは東京都より「CO₂削減アクション（ゼロエミアクション）・ムーブメント 消費者と企業がともに作りあげるサステナブルな社会」事業者に選定^{*}されました。本年 1 月、CO₂排出量削減戦略を策定し、2030 年までに 2019 年比 50%削減を目標としましたが、今回はその推進に向けた活動の一環として、様々な工夫により少ないエネルギーで豊かに暮らす住まいを子どもたちにも体感してもらうことで、CO₂排出量削減を学び、行動に繋げてもらうイベントを実施したものです。

東京都環境局は、7 月 20 日（水）～8 月 31 日（水）の夏休み期間に「東京クールホーム・ビンゴ（電力・エネルギー対策等について調べて学び、おうちで出来る具体的な節電アクションに取り組むためのコンテンツ）」を行いました。今回のイベントは、「東京クールホーム・ビンゴ」でポイントを獲得すると当たる「お楽しみイベント」のひとつとなっており、抽選による親子 6 組に参加いただきました。

【親子向け招待イベント『省エネ』と『太陽光発電』で『エネルギー消費量半分のおうち』を体験！】の内容

- (1) 「ZEH-M Ready」に適合する「省エネ」と「創エネ」の取り組みを学ぶ
- (2) 【気候変動の緩和策】マンション敷地内やモデルルームでエネルギーと CO₂ 排出量を削減するアイテムの「宝探し」
- (3) 【気候変動の適応策】防災ツール「そなえるドリル」を活用し、親子が自分の家族を想定しながら自宅の備えを考えるワークショップを実施



「ザ・パークハウス 新浦安マリンヴィラ」は、全 15 棟 4 階建の低層レジデンスで、三菱地所レジデンスの新築分譲マンションシリーズ「ザ・パークハウス」で初めて「ZEH-M Ready」に適合、新エネルギーシステム「ソレイユ」を構築するなど、持続可能性を追求した住まいづくりを行い、2022 年 9 月に全戸完売いたしました。

三菱地所レジデンスは、住まいづくりを通じて脱炭素社会の実現に貢献するとともに、次の世代を担う子どもたちが持続可能性について学ぶ機会の創出について、今後一層注力してまいります。



▲「ソレイユ（太陽光発電）」の説明



▲EV（電気自動車）充電コンセントの説明



▲「そなえるドリル」防災ワークショップ

■『「省エネ」と『太陽光発電』で『エネルギー消費量半分のおうち』を体験！』の実施概要

開催日時：2022年10月23日（日）10:00～12:00

開催場所：「ザ・パークハウス 新浦安マリンヴィラ」現地、モデルルーム

参加者：東京都のイベント参加者のうち、抽選による親子6組（12名）

（参考）「東京クールホーム・ビンゴ」の「お楽しみイベント」について：

https://www.kankyo.metro.tokyo.lg.jp/climate/home/ecokids_summer.html

■『「省エネ」と『太陽光発電』で『エネルギー消費量半分のおうち』を体験！』の内容

【「ZEH-M Ready」に適合する「省エネ」と「創エネ」の取り組みを学ぶ】

「ザ・パークハウス 新浦安マリンヴィラ」は、建物の「省エネ」性能を上げ、太陽光発電などにより自らのエネルギーを創り出す「創エネ」と組み合わせ、一次エネルギー消費量の削減率 50%を目指した物件です。広い屋根に太陽光発電パネルを設置し、太陽光エネルギーをお湯に変えて蓄エネする新エネルギーシステム「ソレイユ」（2020年グッドデザイン賞受賞）を構築することで、蓄電池なしで日中の太陽光発電電力を 100%使い切ることができます。



▲「ザ・パークハウス 新浦安マリンヴィラ」第1工区 太陽光パネル

（参考）「ザ・パークハウス 新浦安マリンヴィラ」第1工区竣工プレスリリース：

https://www.mec-r.com/news/2022/2022_0112_01.pdf



新エネルギーマネジメントシステム「ソレイユ」
Solei-Yu



▲「ザ・パークハウス 新浦安マリンヴィラ」の説明



▲新エネルギーシステム「ソレイユ」の説明

【マンション敷地内やモデルルームでエネルギーとCO₂排出量を削減するアイテムの「宝探し」】

ヒントが記載された地図を参考に、エネルギーとCO₂排出量を削減するアイテムを探しました。一般電球よりも消費電力が少ないLED照明や、断熱性能を持ちエアコンなどの使用電力量削減につながるサッシ、節水トイレ、節湯水栓のほか、EV充電設備などを見つけながら、住宅における省エネルギーの取り組みについて学びました。



▲省エネ設備（節湯水栓）体験



▲省エネ設備（断熱サッシ）の説明

【子どもと大人が家族を想定して自宅の備えを考えるワークショップ】

地球温暖化の影響で自然災害の頻度の増加・激甚化が懸念されており、「エネルギー消費量を減らす」気候変動の緩和策を実施していくことと共に、「災害に備える」ことも重要になっています。三菱地所レジデンスが開発した、親子で考える防災ツール「そなえるドリル」を使って、災害が起きたときの行動や自宅の備えを参加者全員で考えました。

(参考) ザ・パークハウスの防災プログラムホームページ: <http://www.mecsumai.com/bousai/>

※「そなえるドリル」は上記からどなたでもダウンロードが可能です。



▲「そなえるドリル」防災ワークショップ

【参加者の感想】

- ・説明を聞くことでペアガラスの仕組みがよく分かった。
- ・色々な工夫で CO₂ を半分以上削減ができるのがすごいと思った。削減量を全部見ると「断熱」が一番大事だと思った。家に帰った後も自主学習ノートにまとめたいと思う。
- ・一つ一つの努力でこんなに多くの CO₂ を削減できるのが、すごいと思った。
- ・実際に見ることで色々なことが分かってよかった。
- ・キッズルームやブックカフェ等、みんなが集まることで、各家庭で電気を使うよりも集まって過ごすことは省エネに繋がることが、おもしろいと思った。
- ・今回学んだことを家でもやりたいと思った。



▲マンション敷地内での「宝探し」



▲マンション内レンタルサービス



▲東京都環境局による表彰式



▲「ザ・パークハウス 新浦安マリンヴィラ」

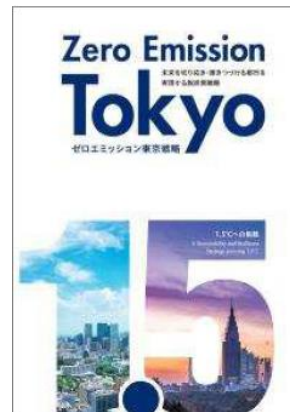
※ 東京都の「CO₂削減アクション（ゼロエミアクション）・ムーブメント」取組み事業への選定について

2020 年 12 月 24 日、三菱地所レジデンスと株式会社メック eco ライフは、東京都より「CO₂削減アクション（ゼロエミアクション）・ムーブメント 消費者と企業がともにつくりあげるサステナブルな社会」事業者を選定され、取組みとして「マンション家計簿 CO₂排出量見える化へ」が採択されました。

東京都は、2050 年に CO₂ 排出実質ゼロに貢献する「ゼロエミッション東京」を実現することを宣言し、2019 年 12 月にその実現に向けたビジョンと具体的な取組み・ロードマップをまとめた「ゼロエミッション東京戦略」を策定しました。

公募は、「ゼロエミッション東京戦略」の実現に向け、SDGs の実現にも貢献する「CO₂ 削減アクション（ゼロエミアクション）・ムーブメントを推進する先導的取組」を東京都と協働して実施する事業者を選定するため行ったものです。公募の対象は「CO₂ 削減アクション（ゼロエミアクション）・ムーブメントの社会浸透に向けた具体的取組」で、効果検証を行いながら、2020 年度から 2022 年度までの 3 か年程度取り組む事業です。

「マンション家計簿 CO₂排出量見える化へ」では、マンション販売時に「年間エネルギーコストや CO₂ 排出量」の目安を記載した資料を提示。購入後のライフスタイルのアドバイスや、更なる省エネ／省 CO₂ 型建物の実現につなげてまいります。



(参考)「CO₂削減アクション（ゼロエミアクション）・ムーブメント」について：

https://www.kankyo.metro.tokyo.lg.jp/climate/home/zeroemi_action2020.html

「マンション家計簿」へ、1 住戸ごとの CO₂ 排出量を記載 プレスリリース：

https://www.mec-r.com/news/2021/2021_0909.pdf

以 上